

<2019年度 アドバンス助産師[教員]区分更新要件の指定研修:180時間と全国助産師教育協議会の研修実施状況>

		研修内容	時間数	研修形態	日時
到達の条件	マタニティケア能力 10時間以上	総会/対話と信頼に基づく親子コミュニケーション支援-子育て世代包括支援に資する助産教育	1.0	集合	6/8
		北海道・東北地区/臨床推論	3.5h	集合	8/10
		中国・四国地区/新生児のディベロップメンタルケア	1.5h	集合	9/7
到達の条件	1)教育および臨地実習 30時間以上	臨地実習指導 60時間以上			
		特定分野(助産)における保健師助産師看護師実習指導者講習会	41.0h	集合	7/19~21、8/23~25
		1st研修(科目履修)/助産論	3.0h	集合	6/21~22
		1st研修(科目履修)/助産師教育方法論	39.0h	集合	7/26~28、8/9~11
		1st研修(科目履修)/助産師教育方法演習	12.0h	集合	10/4~6
		1st研修(科目履修)/助産師教育課程	22.5h	集合	2020/1/24~26
		1st研修(科目履修)/助産師教育評価	13.5h	集合	2020/3/7~9
		2nd研修(科目履修)/助産師教育課程概論(*)	30.0h	集合	6/1、9/28、29
		総会/看護系大学の現状と課題、看護行政の動向と助産師教育の期待 指定規則の改正等、母子保健の動向と助産師の役割	1.0h	集合	6/8
		総会/「望ましい助産師教育(案)」についての提案内容に関する意見交換	1.5h	集合	6/9
		総会/「望ましい助産師教育(案)」についての提案	1.5h	集合	6/9
		関東甲信越地区/ITを活用した助産師教育~なぜ今ITが必要なのか?~	3.5h	集合	8/31
		関東甲信越地区/助産師国家試験プール問題作成・登録に関する研修会	1.5h	集合	8/31
	将来構想委員会/望ましい助産師教育コアカリキュラム進捗状況報告会・研修会	3.5	集合	11/3	
	近畿地区/助産師国家試験プール問題作成・登録に関する研修会	1.5	集合	12/7	
	近畿地区/学生を認知行動科学の視点から理解する研修会	2.0h	集合	12/7	
	2)研究 15時間以上	1st研修(科目履修)/助産論	3.0h	集合	6/21~22
		1st研修(科目履修)/助産師教育評価	3.0h	集合	2020/3/7~9
	3)コミュニケーション 15時間以上	1st研修(科目履修)/助産師教育方法演習	10.5h	集合	10/4~6
		1st研修(科目履修)/助産師教育評価	6.0h	集合	2020/3/7~9
	4)倫理 15時間以上	1st研修(科目履修)/助産論	1.5h	集合	6/21~22
1st研修(科目履修)/助産論演習		6.0h	集合	7/12~14	
5)助産管理 15時間以上	1st研修(科目履修)/助産論	3.0h	集合	6/21~22	
	1st研修(科目履修)/助産論演習	16.5h	集合	7/12~14	
	2nd研修(科目履修)/助産師教育運営組織論(*)	30.0h	集合	11/9、2020/3/28,29	
到達の条件	ウイメンズヘルスケア能力 10時間以上	近畿地区研修/大阪母性衛生学会:周産期メンタルヘルスケアへの取り組み	2.0h	集合	6/30
		中部地区/妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族支援	2.0h	集合	12/14
		近畿地区研修/大阪母性衛生学会:妊娠期からみた子育て困難と児童虐待の関連性	1.0h	集合	12/15

※1st:ファーストステージ ※2nd:セカンドステージ

* 1st研修全科生は、120時間の研修(マタニティ10時間、専門的自立能力100時間、ウイメンズヘルスケア能力10時間)と臨地実習15時間に置き換えることができる。

*2nd研修1科目2単位は更新要件50時間として認められる。

* 全国助産師教育協議会が主催する全国研修会で毎年、研究1コマ(1.5H)、倫理1コマ(1.5H)の研修を行う。

* 全国助産師教育協議会の助産師教育研修センターが毎年、研究5コマ(7.5H)、倫理4コマ(6.0H)の研修を行う。

* 研究・倫理に関して、日本助産実践能力推進協議会5団体と都道府県看護協会および都道府県助産師会が主催する研修会を認める。

* 上記の表に示されている更新要件指定研修の講師を担う場合、更新要件の時間数をダブルカウントとする。(1.5h→3.0h)

* 各研修の申込み・詳細は全国助産師教育協議会hp、あるいは事務局へお問い合わせください。また、研修内容は随時追加されていきます。